



2018

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会



チャレンジサマースクール

2018 in 石川

報告書

平成30年 8月10日(金)~16日(木)

6泊7日



主催 ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
協力 特定非営利活動法人 poco連人(福島県)
後援 福島県教育委員会 石川県教育委員会 金沢市教育委員会
宿泊場所 石川県立能登少年自然の家
金沢市キゴ山ふれあい研修センター



『ふくしまっ子チャレンジサマースクール 2018 in 石川』を終えて

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会

代表 岩井 繁 樹

Fukushima Kid's Challenge Summer School is the result of many people's support and effort. Let's be thankful to those people as we enjoy this concert together.

これは今年のキャンプ終了日の前夜、恒例のコンサートでの私の冒頭のことばです。毎年副代表のジョンさんから英語で教わって披露しています。

『ふくしまっ子チャレンジスクールは多くの方々の支援と協力で成り立っています。その方々にここから感謝しながら大いにコンサートを楽しみましょう!!』とふくしまっ子に呼びかけました。

今年も多くみなさまのこころ暖まるご支援ご協力をたくさんいただき無事終了することが出来ました。ほんとうにありがとうございました。

福島県教育委員会の後援を得られる

まず準備期間を振り返ってみます。大きなトピックは金沢市、石川県の教育委員会、そして福島県の教育委員会の後援を得られたことです。金沢市教育委員会の後援は2014年の3回目からいただいていたのですが、今年初めて石川、福島県の両県教育委員会の後援をいただきました。これも6回の実績を評価してもらえたからだだと自負しています。

また、ピースバンクいしかわの小浦代表、金沢科学技術専門学校の福島先生、星稜大学の西村准教授など石川県の著名の方々にはふくしまっ子の活動に関心を寄せていただき、研究や支援の対象として取上げていただいたことは、我々スタッフにとって大変嬉しいことであり、大きな励ましとなりました。この方々には今後も長くご指導いただけるものと期待をしています。

わがふくしまっ子チームのつよみ

今年は大学生の女子の参加が目立ちました。昨年参加の桃ちゃん、いずみちゃん、弘美ちゃんがSNSを使って呼びかけをしてくれたお陰で新人女子リーダーが8名も参加してくれる運びとなりました。新人男子リーダー3名とともに貴重な体験を積んでくれました。

ふくしまっ子キャンプの強みはいくつかありますが、その一つに大学生を中心としたヤングリーダーが多いことがあげられます。ふくしまっ子にとってお兄ちゃんお姉ちゃんは絶好の遊び相手であり、相談相手であり、あこがれの対象でもあります。

そして強みの最たるものは最強軍団である大人スタッフの存在です。ジョンさんをパパとする14人兄弟のクノキファミリーは何事にも真剣で、フレンドリーで、ふくしまっ子に大人気です。

大人スタッフの要は澤本夫妻。準備から運営にいたるまで細部にわたって気配りと実務をなんなくこなしてくれ、ヤングリーダーの良き相談役でもあります。早朝から夜中までふくしまっ子の面倒を見てくれる縁の下の力持ち、下ちゃんこと下村君。また、能登の超助っ人、道花夫妻。さらに、今年はみんなが嫌がるゴミ当番を快く引き受けてくださった向田さん、中川さん。毎年写真を撮ってくれるメグちゃん、せんべいさんこと徳井さん。ビデオ撮影と編集はプロ級のシーファス君。ヤングリーダーのお兄さんお姉さん役の深代君にしっぽちゃんこと細川さん。そしてふくしまっ子を大いに盛り上げてくれるシンガーソングヒッチハイカー清水十輝君。今回は奥さんと一緒に参加してくれました。

忘れてならないのは福島県からスタッフとして毎年参加いただいている橋本さんと保護者のお母さん方。バスの送迎、福島での説明会や報告会を後方支援いただいているNPO法人poco連人さん。

他にも挙げればきりがなほど多くの方々に有形無形でご支援いただいています。ふくしまっ子キャンプは最強のお仲間を支えていただいていることを改めて感じずにはおれません。

ふくしまっ子チャレンジスクールは祈りの事業

この事業をやり始めたきっかけは、未曾有の災害をもたらせた東日本大震災を忘れてはならないという思いと、福島第一原発事故により放射能の影響を受ける子ども達の保養キャンプをどうしてもやりたい、やらねばならない、という思いからでした。まる7年と半年が過ぎた今では、日本各地の自然災害の頻発に目がいったり、日常の雑事に追われたり、時の経過とともに東日本大震災の惨事すらも記憶が薄れてきています。

でも、私たちは忘れません。原発事故は人災です。年に一度しかキャンプはやれませんが、その度に我々大人たちが犯した大きな過ちを心に刻み込むのです。そしてふくしまっ子の健康としあわせをこころから祈るのです。

それがこの事業を続ける意義なのです。

どうかこれからもこの貴重な事業が継続できるよう、お力添えをこころからお願い申しあげ、第7回のふくしまっ子キャンプ終了のお礼のことばとさせていただきます。

ほんとうにありがとうございました。

来年もやります。

保養キャンプとは

保養キャンプとは、原発事故により放射能の影響と不安がある地域に暮らす人々が（特に放射能の影響を受けやすい子ども達）が休日などを利用して、他地域に滞在することで放射能の影響や不安から一時的に離れ、体調を整え、心身の疲れを癒すことを目的として企画運営されるものです。

テルノプイリ原発後ウクライナやベラルーシなどでは国家が主導して、学校の授業の一環として保養キャンプが実施され、期間は1か月を越えるのが普通です。30年経った現在も実施されその効果も実証されています。

わが国では現在でも全国で300以上の団体が毎年夏・冬・春休みなどを利用して保養キャンプを実施しています。運営はボランティアが主で、資金面は寄付金・補助金で成り立っているのが現状です。

事業報告

1. 事業名 ふくしまっ子チャレンジサマースクール2018 in 石川
2. 実施主体 ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
3. 実施期間 平成30年8月10日(金)～平成30年8月16日(木) 6泊7日
4. 宿泊場所 石川県立能登少年自然の家 石川県鳳珠郡能登町字九里川尻16字20番地 (10日～14日)
金沢市キゴ山ふれあい研修センター 石川県金沢市小豆沢町34番地 (14日～16日)
5. 実施場所 石川県立能登少年自然の家
五色ヶ浜海水浴場(海水浴)
金沢市キゴ山ふれあい研修センター
6. 参加者 福島県の小学2年生～中学3年生/26名
石川県の小学生1名・中学生1名
7. 事業内容



《主なスケジュール》

	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	宿泊先	
8/10(金)				郡山市9:00出発 → 昼食(新潟のSAで) → 随時休憩 → 能登到着予定18:00									ウェルカム夕食	開放式オリエンテーション班活動	入浴				能登少年自然の家
8/11(土)	起床・洗面 インオビ操・朝の準備	掃除	フリータイム	海水浴 能登の海を満喫		海水浴&地引網		スイカ割り	入浴	フリータイム	夕食	英会話教室	班活動	夜のつどい			準備		
8/12(日)				スポーツフェス ミニ運動会		お昼寝タイム	フリータイム	キャンピングキャンプ (テント張り&野外炊飯)											
8/13(月)				キャンピングキャンプ		昼食		魚釣り	フリータイム	入浴	夕食	キャンプファイヤー							
8/14(火)				能登 → 金沢 甲状腺検査(吉田小児科)				金沢馬事公苑 乗馬体験		ディスティーノで夕食		キゴ山オリエンテーション	入浴						
8/15(水)	朝の準備	掃除	朝食	ウォークラリー		お昼寝タイム	水鉄砲作り&シャボン玉		入浴	夕食	コンサート								
8/16(木)			朝食	開放式	金沢9:00出発 → 昼食(新潟のSAで) → 随時休憩 → 郡山到着予定18:00														

班・グループのスタッフ



8月
10日 金
1日目



開校式



班活動



スタッフミーティング



8月
11 土
2日目



海水浴





8月
12日
3日目

朝のつどい



スポーツフェス





キャンプインキャンプ



8月
13月
4日目

魚釣り



キャンプ
ファイヤー



8月
14火
5日目



乗馬体験



ディスティーノ



8月
15水
6日目



ウォークラリー



水鉄砲





コンサート



8月
16木
7日



閉校式





北 陸

(第3種郵便物認可)

福島っ子、県内で夏休み

能登町・五色ヶ浜 海水浴楽しむ

大学生スタッフと一緒に砂で城をつくって遊ぶ福島県の子もたち＝能登町新保の五色ヶ浜で

夏休みに県内の自然を満喫してもらおうと、福島県から保養キャンプに招かれている小中学生二十六人が十一日、能登町新保の五色ヶ浜で海水浴を楽しんだ。野々市の岩井繁樹さん（余世）が「東京電力福島第一原発事故の放射線の影響を

気にせずに子どもたち以外で遊んでほしい」と、七年前から有志と毎年企画。今年は十日から六泊七日の日程で、同町と金沢市内で釣りや乗馬体験などをす

この日、ボランティアの大学生ら二十人と一緒に海

に入った子どもたちは「冷たい」「気持ちいい」と大歓声。浮輪で泳いだり、砂で城をつくったりした。同県郡山市から来た菊地一花さん（こ）は「友達もできて夏休みの思い出になる」と話した。（加藤豊大）

今年も新聞に
活動を紹介して
いただきました!



北陸中日新聞(平成30年8月14日掲載)



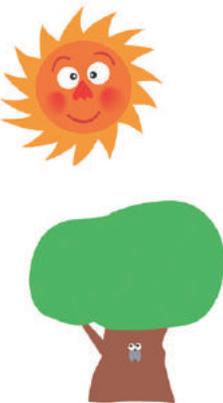
今年も夏休みは福島から金沢へ
小中学生26人
東日本大震災で被災した福島県の小中学生を石川に招待する「ふくしまっ子チャレンジサマースクール」写真1は15日、市キブ山ふれあい研修センターで行われ、児童生徒26人が金沢の自然に触れた。

サマースクールは、10日から6泊7日で行われており、前半は能登町で海水浴や地引き網体験を楽しんだ。夏休みの楽しみになっている。今年もいい思い出ができて、「さぞ」と笑顔を見せた。

初回から参加している福島県郡山市の長嶺磨羽さん(13)は「石川に行くことが

だ。15日は、キブ山を散策してゲームに取り組むウォークラリーや能登の竹を使った水鉄砲作りを楽しんだ。県内の有志でつくる実行委員会が2012年から毎年夏休みに福島の小中学生を招待し、さまざまな体験を通して友情を育んでいる。

北國新聞(平成30年8月16日掲載)



エピソード



新谷 陽向

ひゅうが

・去年から引き続き、今年で二年目の参加ということで、自分のことを覚えていてくれる子どもたちが多く、「ごはんのうた」など自分のおふざけに乗っかって盛り上がりってくれる子どもたちがいることがとてもうれしかったです。



中村 祐貴

ふらん

・キャンプ中の活動で腰を痛めてしまったとき、子どもたちが「大丈夫?」「何か手伝おうか?」とたくさん声を掛けてくれたことがうれしかったのと、「小学生ってこんなにしっかりしてるんだ」と感心しました。



雄谷 かえで

かえて

・二日目からの飛び入り参加で、うまくなじめるか不安だったけど、子どもたちは人見知りせず接してくれて、本当にうれしかった。自分は人見知りの性格なので、子どもたちの方から仲良くしてくれて本当に助かった。自分からも積極的にいかなければ、と反省もした。



細川 詩萌里

しっぽ

・もともと人見知りなので、男の子たち（こども・スタッフ両方）とは今まであまり関わってなかったけど、今回は男女ともに話すことができたかな…! って思います。（まだまだですが）



山本 航也

こうや

・去年も同じ班だったはずが、去年とは違ってしっかり大人っぽくなっていて、年下の子どもたちの面倒を見てくれていた。自分との接し方も、思春期なのか適度な距離感をとっていて、成長を感じた。



河嶋 南

みなみ

・水鉄砲をお互い遠慮なく掛け合っ、ビショビショになれたことが楽しかったです。
・キャンプインキャンプで、一緒にカレーを作ったり、海を見ながら食べたりできてうれしかったです。



山崎 夏花

なつか

- ・二泊三日の短い期間だったけど、班のみんなと話をすることができたし、仲良くなれた。



竹田 有希

ゆき

- ・特に印象に残っているのは、海水浴でのことです。海水浴を本当に楽しみにしている様子が子どもたちから伝わってきました。パディを組んで海に入ることを決めると、うららとさくらが「いこ！はやくいこ！」と誘ってくれたので、子どもたちと一緒に自分も本当に楽しく海水浴を楽しめました。

橋本 逸樹

イツキ

- ・初日に元気がなかったしょうたが、一緒に昼食をとって話をしたら、翌日の海水浴でとても元気に活動してくれたこと。



田村 朋久

トート

- ・中学生の子は、自分より年下のこどもたちを気遣う姿が多く見られて、嬉しく感じました。



泉 侑里

ゆり

- ・はゆまは、いつもクールでツンデレなイメージでしたが、肝試しの時はすごく怖がって叫んでいて、大きな声で歌ったり、「絶対に離れないで！」と言ったり、意外な一面を見られてうれしかったです。

米田 千奈都

ちなつ

- ・班の子どもリーダーで、いちばんのお兄ちゃんのまうは、班の男の子たちからとても慕われていて、立派にはがの子たちを引っ張ってくれたので、とても助かりました。



瀧川 ひかる

ひかる

- ・同じ班の子たちみんなで、ごはんを食べた後に、ゲームをしたこと。
- ・はじめはなかなか話してくれなかった子どもたちと、いろいろな企画を通して徐々に仲良くなれたこと。



道花 真衣

まい

- ・さくらちゃんは好き嫌いが激しくて、最初は野菜が全く食べられなかったけど、終盤になるにつれて野菜を食べられるようになってくれて、とてもうれしかった。

こども感想文

私は今年で4回目で、今年楽しかった行事は、海水浴とトキのコンサートです。
海水浴は、久しぶりに海に入れて楽しかったし、ビーチフラッグやなひきなどもとても楽しかったです！
トキのコンサートは今までにないシチュエーションで、紅白歌合戦などもやっておもしろかったし、楽しかったです。
このように毎年行くたびに楽しい夏の思い出がこぎます。
本当にありがとうございました！

来年も参加したいと思います！

鈴木 里緒菜

去年もすごく楽しかったけど、
今年もす〜ごく楽しかった！！



☆おせわしてくれて☆
ありがとう。



今年は金沢にも行く(期間延長)今年もとても楽しい夏休みは、
中学生になり、部活もいそがしくなった中、参加できたのは、
とてもうれしかったです。昨年これなかったしほとも会えて楽しかった
です。中学からはなかなか会えなかったせんちゃんとも
会えとても**充実**した夏休みだったと思います！

**本当にありがとう
ございました!**

来年もせつたいに帰ります。

ぼくは、ゆゆうキャンプにさんかするのがはじめて
ちょっとおもしろかったけど、のちについてバスから
おいてスタッフがきてくれて友達がいっぱい
できてうれしくなりました。この日のかいい
よかったです。のしみでした。
水がほら、いいこでいっくは、かいたら
やがえてほら、おもしろかったです。
ありがとうございました。

ぼくは、今年で5年目の参加です。このキャンプが「家」
みたいな感じています。これからもしっかりと
「あせかく」を実行したいです。
来年もみんなに会いに、石川に帰りたいです。

乗馬体験がおもしろかったです。と中参加で海水浴とスポーツ
フェスができて喜んでいましたが来年は7日間全てのイベントを楽しみたいです
です。

1週間ありがとうございました。
この1週間学んだことはたくさんあります。
来年も参加したいです。
待っているよ。

リーダー
スタッフのみなさん
たくさん楽しい思い出
をありがとうございました！
また来年も石川に
行くから待っていてね
遠藤 琉楽



リーダー
スタッフの
みなさん

ふくしまっ子チャレンジスクール様へ。

今年の夏は勉強をすべし、といったので。チャレンジスクール
のプログラムは自然と触れ合うことがほとんどなので息抜きには、
よかったです！！

来年はサングリーダーになりたいです。
がんばって勉強し、志望校に入れるようにします！！

サングリーダー、マダルトスガイの皆様

たくさん思い出とたくさん
の優しさを **ありがとう！**

きもためしと〜でも怖かったです。

来年もデステーションに行きたいです。

**一週間本当に
ありがとう♡**

Thank you
very much!

きもためしで。最初から

りやや組とって宿舎いって。あ。



スタッフのみなさん♡

あの期間の一週間でした。

毎年、毎年 忘れられない思い出が胸に残っています。

バスから降りたとき、リーダーにだきついていました。
うれしくてうれしくて♡

リーダー・スタッフのみなさん、やさしくて、いつも元気で、
元気をもらえました。

また今年も

最高の思い出♡

ができました！

本当にありがとうございました ございました❀

僕は、今年で六回目の参加になりました。
初めて参加した時は、二年生で、
たけなもと話を聞いた時に、話を
かけてくれたのがスタッフの方
でした。とてもうれしかったので、
今年のカレー・ジャム・スクールマ
として楽しかったです。

毎年、部長でこれるか分かりませんが、
楽しい思い出をありがとうございました。



ぼくが、ふくしまっ子チャレンジサマー・フール
一番楽しかったことは、3つあります。

1つ目は、海水浴でいっぱいみんなで
遊んだりととても楽しかった。
次には何か買って来たものを
とても楽しかったです。

2つ目は、キャンプインキャンプできもだめし
でちょっとだけこわかったけど
楽しかったです。キャンプ
キャンプでは、ときだちと
いっしょにおたばらにしたり
僕ごはんには、みんなで協力
してカレーを作ってみんなで
作ったカレーは、おいしん
だなぁって思いました。

3つ目は、フリースタイルです。ぼくは、2回目です。
今年もサッカーやってとても楽しかったので
今年もサッカーやってぼくは、せめたり
ゴールキーパーをしたので守もねな
かったときもあったけど友達といっしょに
仲良くしてサッカーできたのでうれしかったです。

来年も
いきたい
です。

リーダースタッフ、サポートスタッフのみなさんへ

6つめはキャンプインファンターです。

能登少年自然の家の下の方に、キャンプ場があって、下でキャンプインファンターをしました。テントをばって、カレーを作りました。僕は、火をつける係でした。前も火をつける係でした。カレーができて、食べた。とてもおいしかったです。

サポートスタッフのみなさんは、とてもおいしいご飯を作ってくれて、ありがとうございます。

リーダースタッフのみなさんは、たのしい企画を立ててくれてありがとうございます。とても感謝しています。

一番楽しかったのは、9つあります。

1つは、海水浴です。

僕は、海水浴で遊んでいた。クラゲに刺されてしまい、海に入るのができませんでした。とても痛かったけど、とても楽しかったです。(海に遊んだときは)

2つは、魚釣りです。

魚釣りは、初めてで、えさをついて、海の中に入れた。釣心で釣れませんでした。釣りについてくれたけど、1時間も釣れませんでした。

3つはフリータイムです。

僕は、フリータイムにサッカーをした。とても楽しかったです。5年のまさきと一緒にサッカーができて、とてもうれしかったです。体育館でまさきと、若の翔太と一緒に野球をしました。

4つは、キャンプファイヤーです。

キャンプファイヤーで楽しかったのは、たくさんゲームをセッティングしたことです。

5つはスポーツフェスです。

僕は、1試合した。1班〜4班まで順位を争っていました。1班と2班は、7対5で勝っていました。僕は、5人あてました。1班と2班は、1対1で、一回目は、勝りました。

2回目は、4班と戦いました。しかし、

一敗を喫ってしまいました。順位は、2班で、2位は1班と2班の間で争った。

キャンプインキャンプの夜にとてもおもしろいことです。

1班の時から2班までにかかれて、行きました。僕の番がきて行ったら、人が通って、驚かされました。とてもびっくりしました。でも、とても楽しい思い出でした。

7つめは木鉄砲と竹を飛ばすことです。

竹で木鉄砲を作りました。僕は、長い竹を選んだ。長い竹のほうがよく飛ばす。と思ったからです。次に木鉄砲がほじって、たくさんの人に木を飛ばしました。楽しかったです。



僕は今年で7年目を迎え、今年が、やっぱりこれに行かないと夏休みは始まんない感じがする。だがしかし、帰ってきたら、休みは半分もないのであんまり遊びませんが、毎年行っているせいか、このキャンプに行かないとまた次の夏までかまはれんない感じがするので、来年は余裕で受験勉強が終わるくらい勉強してまた行きたいです。

保護者感想文

- ・ ティスティーノの食事がとてもおいしかったと言っていました。
- ・ 石川県への進学したいと言うようになってきました。リーダーとの交流がいろいろな考えさせられて来たみたいですよ。
- ・ 来年から高校はなので、今度はリーダーとして参加したいようです。

今回、2回目の参加をさせていただき
ました。バスから降りて家に帰るまでの
車の中だけでは足りないくらいに石川での
できごとを楽しそうに話してくれて、とても
良い時間を過ごせたんだなぁ。。とうれしく
なりました。

たくさんの方々の品かと支援のおかげです。
本当にありがとうございます。
また来年も参加できたらうれしいです。

今年は、ふくしまっ子チャレンジスクールに参加できるが、とても不安
でしたが、結果的には、参加させて良かったと思えました。
理由としては、朝、起きるのが難しかった我が子が、早起き
して規則正しい生活ができた事、自分の気持ちとあまり表情に
出さなかった我が子が、無邪気に笑っている姿を見れた事、
このキャンプには、学校では学ぶ事のぞつふい「何か」があるんだと思
います。自主的、主体的に行動する事に、自らチャレンジし、
楽しむ事ができるのだと思えます。
今年のプログラムは、ヤングリーダーの新しいアイデアがたくさん
盛り込まれていて、とても楽しい時間を過ごさせていたと思います。
そして、イベントがスムーズに進むように準備や後片付けをして下さったり、
洗濯や食事の準備をして下さったスタッフの方々に心より感謝致します。
また、ご支援いただいている方の「未来のリーダーを育てよう」と思っ
て支援しているというお言葉を聞き、胸が熱くなりました。
我が子も、たくさんの方から頂いたご支援を、前に進む力に変え、
将来、人の為に活動できるよう大人に成長してくれらう。
と思えます。一人ではぞつふい事も、同じ目的を持った人が
集まる事に、又はなかになる事を改めて感じました。
ふくしまっ子保護者の為に、想いを寄せたいと思っています。
たくさんの方々に、心より感謝致します。



今年で4回目の参加。回数重ねるにつれて行事をまろんのこと、
スタッフの方、お昼にいしに参加したお友達に会いに来て
とても楽しみにしているようです。

テレビ番組の企画、石川県か、知っていると興味をもち、親子で、
家族にとり、第2の故郷になつてます。

石川の方との温かい気持ち、ご厚意を子供達も感じ、自分達の
大人になつたときに、お返しできるように成長したいと思つてます。
今年も、ぜひいし、お礼の気持ちを込めて、感謝の気持ちをいしにします。

今年で4回目の参加となりました。
毎年同じ顔ぶれのふくしまっ子。
1年毎の成長を見る事も保護者として
参加し楽しむ事になってきました。
元気いっぱいの子供達の笑顔を見
ることができて、安心できて、私も
元気をもらうことができます。
これからの子供達の成長がとても
楽しみに思っています。

今年で4回目の参加をさせていただきました。子供達は昨年の報告会から今年のキャンプをずっと楽しみにしていました。夏休みに入りキャンプの日が近づいてくると参加一年目からのDVDをくり返し観たり、十輝さんのCMを聞いて、「今年は誰と一緒にのびのびかな」「ああ早く行きたい」と毎日キャンプの話ばかりしていました。キャンプから帰ってきた日、「どうだった？」と聞くと、上の子は「十輝さんメグちゃんの歌に感動して、そしたら一日目から思い出して、もうお別れなんだと思ったら涙が止まらなくなっちゃって...ああ早く報告会にならばいいなあ」と言い、下の子は、「(ヤングリーダーの)Yちゃんと久保りに会えたのに、はずかしくてあんまり話せなかった」としゃべっていました(=笑)成長を感じました!!それから、宿題をしながら「石川に帰りたい」と涙をこらえていました。福島では年々放射能の話が出来なくなっています。学校行事で原発から遠くない所に宿泊をさせられ、浜の石や石で遊ぶという泣きたくなる様な環境です。その様な中、このキャンプに参加出来るという事は本当に心の救いです。スタッフの皆様、リーダーの皆様、ご支援して下さいました皆様、本当にありがとうございます。今年もお世話になりました。お土産にいただいたお菓子やお米も子供達と感謝をしながらいただきました。関わっていただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



今年で4回目の参加もさせて頂き、毎年ふくしま子チャレンジスクールのおかげで、年々思いが深く、参加して行く子どもたちの成長も感じるのも喜びの一つになっています。出発の日から一週間、どの子も表情が変わってくるのがわかります。自然の中で、のびのびと生活できること、多くの体験をしながら「あせ、かく、こ」を実行する子どもたちは、いい顔をして、とても楽しそうでした。夜のスタッフミーティングでは、自分の思い通りにできなかった反省や思いから涙するヤングリーダーの姿もあり、福島の子供たちへの愛情、チャレンジスクールへの熱い思いを改めて感じました。学生さん、社会に出て間もない若い方々、ヤングリーダーは、一人一人しっかりしていて、集まってきた方々は、感心するほどの立派な若者たちです。本当に素晴らしいです。子どもたちの大好きなヤングリーダーの皆さん、ありがとうございます。石川に関わってくださったスタッフの皆様、感謝の気持ちでいっぱいです。今年もお世話になりました。また一年間、来年に向けて、親子で頑張れそうです。

- ・苦しかった梅干しや梅干しを食わされるように帰って来ました。
- ・子どもだけで大丈夫かなと不安で、Facebookをこまめに見てましたがい、大丈夫そう安心できました。
- ・原発事故から7年経過後、事故が風化している一方で、未だに放射能(福島)に対する偏見も感じています。また、自分自身、本当なら、避難先の方の良いのでしょ、という思いもあり、この様な機会をいただけるのは大変ありがたいです。費用の問題も毎々あるでしょうが、できれば継続してほしいと思います。本当にありがとうございます。

今年大変にお世話になりました。
 中学3年生として参加するが、どうするかわからず心配は不用でした。
 一年ぶりに毎回楽しめた。と帰るまで同じ気持ち。その言葉数日
 少しく成長しているとはおもったからむしろ嬉しいですね。
 しかし(金沢)石川で通した期間がたつと人の方と話し
 気持ちも成長しているはず。小学生の時とは全然
 楽しみにあつた。中学生として自分としての役割をできる
 約1時間のスタンプから学んで、今後の自分をつくらうはず。
 料理も、こちらから学ぶはしませんか。今年も福島を
 想うてくださる皆様へメッセージを書いておきます。
 フェイスブックを見直し、家に笑いかける時間は
 スタンプの皆様、リーフの皆様、また来てくださる全ての方に
 感謝の言葉かけさせていただきます。

海遊び、つりばと楽しかった。と
 第一声言ってくらうて。
 本人も中学生になりついに、お母さん
 小学生気分を振るうためのスタンプや
 上着をよく見て吸収してくれと喜んで
 送り出したが、本人を見るたびに
 ぞろぞろ、何の責任感のあつた仕事、作業を
 任せると変わってくるのかわかなくて
 悔しい。正直は、理解(お母さん)に
 してあげ、町内の経過を伝えてほう
 ので長く持続出来るよう親として教育
 していきたいです
 HLのメンバーのことも連絡感もすべて
 最高に良いでした。

遠くまで心細くないか心配でしたが、
 Facebookなどで噂の噂の子が仲間。
 帰って来てからは、
 「楽しかった！お母さん!!」と
 あつた。参加させて良かったと思えました。
 又、お母さん、大変ありがたうございました。
 スタッフの皆様、スタッフの皆様、感謝の気持ち。
 ありがとうございました。

性格も行動も全く違う兄弟に驚いたことでしょう...
 楽しかった〜♪「また来年も行きたい。」とそう言っています。
 色々迷惑おかけしました。大変お世話になりました。
 もう7年が経っていますし、自然災害がこれだけ発生している中で
 寄附を募り支援をいただくことは、今後は難しくとても厳しいこと
 と思います。それでも今年もまたこの事業を継続して成し遂げて
 いたおかげに感謝の気持ちでいっぱいです。
 お盆休日をぶくしまの子の為に貴重なお時間を遣ってくだ
 さい。岩井さん、澤本さん、スタッフの皆様、その事を
 理解してくださっているご家族の方々、関わってくださった全て
 の皆様に有難い気持ちで、一歩前へと進んでいきたいと思います。
 ありがとうございます。

家に帰ると一番先に話したのは「11月3日と4日は何にかあるの？」
 順にお話して〜のお服に報告会があることでした。荷物の準備は
 済ませた。その日の夜にはお友達と年級を音で始めました。
 毎年のことですが、一年ぶりに成長している姿を感じたこと
 うれしくおもった。
 石川も福島もこちらも自分を育ててくださる場所。
 家族の為に私達も感謝の気持ち。
 ありがとうございます。



仲、一言目は「楽しかった」と聞けて
 保養に出た良かったと思っただけ
 なるはかクラブ活動等で行った
 参加するとは「とくとくと楽しかった」と
 と実感は出来た
 親としては自立力、自分から「リーダー」として
 参加できるとは嬉しいと思っただけ



今年のお世話になり、御礼申し上げます。

「ふくしまっ子」を再認識した今年も、
 早稲田大学のみなさんと一緒に、

吉田先生には、お休みの時間を割っていただき、お礼申し上げます。

ふくしまっ子のスタッフさん、子どもたち共に、お礼申し上げます。

餅大変好準備をしてくださったお礼、子供たち、保護者の方々が

子供帰るべく場所が2箇所、

いつもお礼申し上げます。

今年もたくさんの思い出をありがとうございました。

気がつけばもう7回目の参加となりました。

甘えん坊の小さな男の子だった息子も、
 小さな子の面倒を見れる程大きく
 成長しました。

体だけではなく、心も豊かにたくましく
 育つたのは、このサマーキャンプの
 経験が大きく関わっていると感じています。

これから先も、何かの形でこのサマーキャンプに
 関わっていただけたら、と思っています。

スタッフ、協力していただいた方々、大変お世話になりました。

この「ふくしまっ子」に参加するのを楽しみに日々がんばっているような感じで、
 反抗期の真っ只中で、ちよとしたことでバトルがはじまってしまいます、
 子供が石川で世話になっている間、親も子供から解放され
 リフレッシュできました。

「ふくしまっ子」は自然をたっぷり楽しめるだけでなく、年齢、性別をとわず
 信頼することが出来る 可ばらしい保養キャンプです、
 毎年 絆が強くなり、たくなっているように思えます。

昨年あたりから、スクールを卒業(?)していく先輩を見て憧れのようなものが
 出てきているようで、いざれ自分も... と思っているようです。

しかし年々、ふくしまっ子の参加が少なくなっているのも、この事業が継続の力、
 続けられるのか心配です。

今年も宝物の思い出をたっぷりありがとうございました。

「ふくしまっ子」も7回めになると、みんな平等に77年が増えているわけ？
 ご結婚やお子様の誕生 etc うれしい話を聞きました。

おめでとうございませう!!

たくさんのおみやげもありがとうございました。



スタッフ感想文

今年のふくしまっ子チャレンジサマースクールは僕にとって一番大きなチャレンジでした。自分はよくフォローする方が多くて、あまりリードする事が無かったからです。自分は本当に人の前で日本語を喋るが嫌いで、全く自分の日本語に自信がなかったので、とても不安でした。でも5月の合宿で色々話を聞いたり、いっぱい考えた後に、このキャンプのメインの一つのことは、やっぱり「新しいことに“チャレンジ”すること」だったのを思い出しました。自分の日本語がもっと上手になりたかったら、これをチャレンジとしてみようと思いました！

実際にキャンプが始まったら、チーフリーダーの仕事はどんなに大変な仕事だったのかが分かりました。前に目に入っていなかったことが、この立場からしか見えないのに気づいて、最初の方はとても大変でしたが、その時、十輝や他のリーダーさんが色々アドバイスをくれたり、応援してくれて、本当に大きな助けになりました！皆がいなかったら絶対にできなかったもので、本当にありがとうございます！

子ども達と一緒にいる時は何よりも楽しくて、毎年夏にこのキャンプに参加できることは本当に光栄だと思っています！本当にふくしまっ子の皆さんは家族のようです！子ども達やスタッフのそれぞれの成長を見る度に、自分もこれから頑張れるという気持ちになります！とても素敵な夏の思い出をくれて、本当にありがとうございました！

ジョセフ



★今年、初めて参加させていただけました。こんなにも、温かくて、楽しくて、時間お止まれ!!と思ったのは初めてでした。1週間は短く、濃い、最高の夏の思い出となりました。初めは子どもたちと打ち解けられるのか、リーダーとしてしっかり動けるのか、スポーツフェスの企画がうまくいくのか、不安だらけでした。しかし、子どもたちはもちろん、他のリーダー、スタッフの方々がそんな不安を一気に吹き飛ばしてくれました。子どもたちはみんな素直で優しく、何もわからなかった私を受け入れてくれて、こんなに嬉しいことはないです。また、「ふくしまっ子チャレンジサマースクール」の活動が続いている意味、この活動に参加しなかったら知ることもできなかった福島の子供たち、保護者の方、リーダー、スタッフの方々の熱い思いを直接感じる事ができて本当に良かったです。私自身このふくしまっ子に参加して、「気づく」ことの大切さを改めて感じる事ができました。誰かの思いに気づく、周りを広く見て、自ら気づき行動できるよう、これから頑張りたいと思います。

また、来年も参加できたら嬉しいです!! 素晴らしい貴重な経験をさせていただきありがとうございました。♡

竹田 希



今回 ふくしまっ子に 私は初参加で 前日はハウハウドキドキして心配していたのに、どんなことはなんのその! ふくしまっ子の子ども達のはじわるエピソード 笑顔 ☺ と 120% の尺気に 120% の尺気に 6泊7日 過ごせることができました。

海水浴では、みんなに海がしゃべいのだと改めて感じ、スイカはみんなにも甘かったのだとびっくりしました ☺

そして、なんといっても みんなで作った カレーライス ☺ は 1.1倍美味しかったのを覚えています。

みんなに夏を思い出して 感じ 全力で楽しんで 最高の濃い1週間はふくしまっ子だけの色々な人のおかげで変えられ、なっているふくしまっ子。

ふくしまっ子では、自分自身の成長や人々との繋がりを感じられる機会と知りたくて、このふくしまっ子チャレンジサマースクールに参加できたことは私の誇りです。

本当にありがとうございました。

© FW & Co., 2017 河嶋 南



今年初めてキッチンスタッフとして参加させていただきました。
大人も子どもも一緒になって、毎日元氣いっぱい一生懸命汗をかき、遊び、考え、学び、泣き、よく笑い、よく食べ、よく眠る。
幅広い年代の方々の中で過ごす日々は、まるで家族が丸一と
なって互いに全力で生きるという事を"共育"しているように感じました。

またキッチンスタッフとして、過ごす中で見えないところでの支え、想いや力を感じました。

沢山の方々のおかげ様で、このふくしまっ子があること、それは自分に対しても言えることであり、沢山の方々に支えられている
想いに心温まり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

忘れてはいけない、大切な想いを思い出させていただきました。
是非、また来年も参加させて頂き、皆さんに、子ども達に会いた
いです!

皆さん、本当にお世話になりました!

ありがとうございました 😊

大久保綾乃



今回初めてこのふくしまっ子チャレンジ
スクールに参加させて頂きました。本番
に備えて行われる入念な合宿や打ち合わせなどから皆さんの本気度が見られて正直はじめは驚いていました。しかしそれ
だけ子供達を喜ばせることに本気なの
だと理解をし私も全力で取り組みまし
た。合宿を経て様々なことを学びまし
た。なにより子供たちにも楽しんでもら
えて本当に嬉しかったです! またみんな
と楽しむためにモラルの範囲内でなんでもするつもりなので次回もお願いします。
(笑) ぜひ来年もまたみんなに会って遊
びたいです!ありがとうございました!

やっちー



今年に入ってふくしまっ子も7年目になりました。最初は小さな子どもだったみんなが毎年毎年少しずつお兄さんお姉さんになっていく姿を見て時間の流れを感じます。

正直なところ、恥ずかしい話ですが時間の流れと共に私の頭の中では3.11は少しずつ風化していたという部分がありました。ですが、子どもたちにあって、ふくしまっ子のお父さんお母さんから実際に話を聞いて、まだまだ終わった話ではなく、忘れてはいけない、続いていかなければならない。そんな事業だと再認識した、そんなキャンプになりました。

今後とも私のできることは少ないかもしれませんが協力していきたいです。

今年もありがとうございました。来年もよろしくお願いします。

トート

今年、夏が始まる前の取り組みで、毎年3泊4日や
2泊3日おこなっている方々から、

「どうして毎年お気持ちを寄せて下さるの?」お話を伺う
機会がありました。その中で

① 次世代を育てる取り組みだから
震災と原発事故を経験した福島の子供達と
この事業に関わるメンバーと一緒。次に何かある時に
次世代の誰かに手を差し伸べたいと思います。

② 3.11を忘れたくない
日々の生活に埋もれてしまいがちな震災と原発事故の
言わぬが二の事業に少し参加することで思い出せます。

そんなお話を伺って、

実際にキャンプに参加して企画に携わっているスタッフ達の
大切にしたいお気持ちと共通の気持ちを感じることができ、
大きな輪ができていくと嬉しい再確認をしました。

輪の中で大人も子供も包まれ、明日を生きる力をたくわえ、
1年に一度、一斉の時間を共有することが「忘れない」につながる
ことを人言ひ、精神の回復に力を注ぎます。

ありがとうございました。



澤本 夕日子



参加者アンケート結果

参加 19 家族中 14 家族さま 20 名より回答をいただきました。

◎参加の理由は何ですか？ 複数回答可

放射能からの避難	15
自然に親しませたい	15
これまで参加して楽しかったから	15
団体生活を体験させたい	10
自立心をつけさせたい	10
夏の思い出作り	9
友達を作るため	8
行事に魅力を感じた	8
遠いところに(石川県)に行かせたい	5
その他	5

◎プログラムについて全般的にどう思われましたか？

とても良い	20
良い	0
普通	0
悪い	0

◎生活の目標のあ・せ・か・く・こを家でも実行しようと思いませんか？

がんばってしたい	15
できればしたい	5
やりたくない	0

◎今年で7回目を迎えましたが、今後このようなキャンプは必要と思われますか？また継続する必要があると思われますか？

必要と思う	13
継続してほしい	12
必要とは思わない	0
継続する必要はない	0

◎来年も参加したいですか？

参加したい	19
参加したいが来年に ならないとわからない	1
参加できない	0

◎開催時期(8/10~8/16)についてはどう思われますか？

ちょうど良い	19
早い時期が良い 7/25~7/31ごろ	1
早い時期が良い 7/30~8/6ごろ	1
遅い時期が良い 8/13~8/20	1



◎ふくしまっ子チャレンジスクールの1番いいところはどこでしょうか？

【お子様からのご意見】

明るい、楽しい	3
皆で協力し合って1週間過ごす集団生活	3
色々な事を、楽しんで出来て面白い	1
夏の楽しさを目いっぱい感じられる所	1
学年、歳を気にせずに、全員と仲良く出来る所	1
皆優しく対応してくれて、楽しく毎日過ごせる所	1
皆元気な所	1
沢山の笑顔が見れる所	1
イベントがすごく楽しい	1
リーダー・スタッフが、親切・やさしい	1
自然に触れ合える所	1
色々なチャレンジが出来て、リーダーと一緒に遊んでくれる所	1
色々な遊びが出来、経験したことがない事も出来る事	1
ミニゲームの企画が面白い	1

◎開催期間(6泊7日)についてはどう思われますか？

ちょうど良い	15
もっと長いほうが良い 8泊9日	3
10泊11日	4
9泊10日	1
7泊8日	1
もっと短いほうが良い 5泊6日	1

◎どの行事が良かったですか？ 複数回答可

海水浴	16
フリータイム	16
キャンプファイヤー	15
キャンプインキャンプ	15
ウォークラリー	15
乗馬体験	14
スポーツフェス	12
魚釣り	10
班活動	7

【保護者様からのご意見】

いろんな年代の方と協力しあう	1
リーダーがいて、子どもたちなりに良い事、悪い事もある事	1
その期間おもいっきり遊ぶ・楽しむ様々な年齢の子どもたちと交流できる	1
子どもたちが、自分で考えて行動できる点	1
安全面ではとても安心してます	1
リーダー・ヤングリーダーを初め、沢山のスタッフがいる所 素晴らしい事業計画の内容	1
「家族のように感じられる」と息子が言う所 信頼出来る方々に、お世話になれる所	1
リーダー・スタッフが、計画・ミーティングもしっかり行われている	1
スタッフの皆さんが毎年全力で子どもたちと遊んでくれているのが、伝わり楽しい様子が、FBでも伝わって来る所	1



スタッフおよび協力者

(敬称略)

社会人スタッフ 41名

岩井繁樹、クノキ家 (ジョン、範子、メグ、シーファス、エルジェイ)、 澤本悟博、下村英司、道花正博、徳井聡司、清水十輝、深代真一、田村朋久、向田誠市、熊田克敏、中村洋二郎、石黒茉莉子、岡島由紀子、小竹妥英、北原尚紀、中川久美子、澤本多日子、道花敬子、大久保綾乃、新田洋子、中村ちか、小針 隆、橋本久美子、細川詩萌里、石川信枝、八田育子、猪飼紀子、梅澤 清、瀬戸カオル、能瀬仁美、酒井美穂、橋本啓輔、泉 侑里、中村昌子、高森玲子、村井陽子

参加保護者 5名

阿部真之、鈴木真由美、喜古美千代、鈴木悦子、渡部裕美子

学生スタッフ 25名

クノキ家 (ジョセフ、サイモン、ビンセント、ジョイ)、 山本航也、富松 凌、瀧川ひかる、雄谷かえで、谷内智一、中村凌生、地黄雄希、橋本逸樹、荒井桃子、米田千奈都、道花真衣、東 泉水、石川こころ、中村祐貴、竹田有希、河嶋 南、山崎夏花、越野弘美、澤本享宏、新谷陽向、林 智弥

お手伝いいただいた方々 6名

◎看護 師：上島麗奈、森木真美

◎救急指導員：永井敏昌

◎イベント協力：瀬戸政浩、真家大樹、日野 史

その他募集活動その他にご協力いただいた方々

小浦むつみ、西村貴之、広告工房アピール

カウンタダウンボードに協力頂いた企業様



(株)ユティック



施設工業(株)



村田屋旅館



(有)オーエムサービス



(株)サナ



(株)ヘリオス

協賛金・食材現物提供ご協力者

(敬称略)

企業・団体様

◎西日本旅客鉄道労働組合JR西労組西バス地本金沢支部 ◎株ユティック ◎株桶村設計 ◎花色木綿
 ◎西日本旅客鉄道労働組合西日本JRバス地方本部 ◎株サナ ◎昭栄産業(株) ◎寿し寅 ◎有相馬商会
 ◎株環境クリエイション ◎むとう小児科医院 ◎奥能登みっちーファーム ◎株マツバラ ◎有年 秀
 ◎豊国石油(株) ◎楽農心友会 ◎よしだ小児科クリニック ◎株大門システムズ ◎瀬戸機工サービス
 ◎野々市ライオンズクラブ ◎石川石材商事(株) ◎名東化工機(株) ◎カオル正體 ◎株長覚硝子建材店
 ◎株ヘリオス ◎株小林製缶 ◎SAWA会 ◎株絹川商事 ◎村田屋旅館 ◎山下接骨院 ◎あうん堂
 ◎けんろく保険サービス(株) ◎有オーエムサービス ◎施設工業(株) ◎NPO法人市民環境プロジェクト
 ◎Y's美容室 ◎東出珈琲店 ◎高松木工所 ◎ひがしやまちょう吉 ◎株澤本商事 ◎株ヤマモト工務店
 ◎学校法人金沢科学技術専門学校 ◎Body & Heart-labo. Awake ◎MS&ADゆにぞんスマイルクラブ

募金箱・その他 カウントダウンボードに協力頂いた企業様



有年 秀



株桶村設計



名東化工機(株)



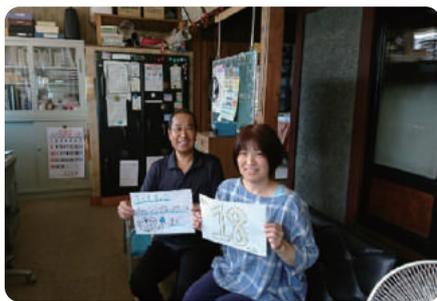
山下接骨院



Y's美容室



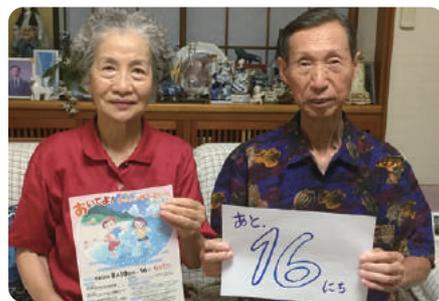
野々市ライオンズクラブ



石川石材商事(株)



Rooms (株絹川商事)



帆苅ご夫妻

こころ暖まるご寄付、ご協力 ほんとうにありがとうございました。

協賛金・食材現物提供ご協力者

(敬称略)

個人様

◎布尾敬子 ◎帆刈宏典 ◎西尾修一 ◎小花康幸 ◎吉本 哲 ◎山本 悟◎一丸清美 ◎中内晃子
 ◎中川久美子 ◎松下はる枝 ◎森木真美 ◎川上万里子 ◎喜古美千代 ◎北野ゆみ子 ◎本橋誠一
 ◎陣内智子 ◎山本華喜子 ◎西野和也 ◎八田育子 ◎宮下雅子 ◎向田誠市 ◎シーファスクノキ
 ◎石黒由加里 ◎大部恵美子 ◎奥村久美子 ◎野間口拓実 ◎奈良 勇 ◎釜田典子 ◎中田他慶子
 ◎津田省吾 ◎富田敦子 ◎本 敏子 ◎上村好子 ◎鈴木隆之 ◎菱沼曙美 ◎猪飼純市 ◎北 和久
 ◎永井敏昌 ◎大和恵子 ◎村井陽子 ◎細川信喜 ◎今村 龍 ◎山田憲昭 ◎高森玲子 ◎横越和子
 ◎道念邦子 ◎遠藤洋子 ◎黒川真理子 ◎長澤喜久子 ◎金田まり江 ◎島野健太郎 ◎尾栢由利江
 ◎岩井繁樹 ◎堂森郁子 ◎山下白徳 ◎宮下智夫 ◎北野信子 ◎杉田信代 ◎田村奈美 ◎羽山剛次
 ◎野中将義 ◎吉谷道江 ◎本城弘幸 ◎棚田啓子 ◎黒瀬洋一 ◎中村博信 ◎赤井朱美 ◎石田賢路
 ◎中村陸也 ◎田中晴代 ◎平岡純一郎 ◎高柳栄利子 ◎加藤有理沙 ◎木谷あけみ ◎小林喜代美
 ◎平野敏子 ◎福松友加 ◎黒瀬のり ◎小村輝男 ◎石田安子 ◎岩田真澄 ◎下村英司 ◎真家大樹
 ◎澤本三十四 ◎澤本房代 ◎澤本悟博 ◎石黒茉莉子 ◎高田麻里子



協賛金・食材提供して頂きカウントダウンボードに協力頂いた皆様



ふくしまっ子達へのお土産セット



あうん堂



奥村設計室



ひがしやま ちょう吉



よしだ小児科クリニック



むとう小児科医院



HOKKA 北陸製菓株

こころ暖まるご寄付、ご協力 ほんとうにありがとうございました。

食材提供・現物ご寄附様

- ◎エコファーム奥野 ◎あさひ屋ベーカリー ◎トモファームあゆみ野菜 ◎田谷武博 ◎佐伯 元
- ◎尾嶋真理子 ◎濱頭正吉 ◎奥能登みっちーファーム ◎奥村弘一・久子・久美子 ◎向田真由美
- ◎岩本清商店 ◎アルムの森 ◎中村陸也 ◎道花祥太郎 ◎赤井由美子 ◎RICE HAIR DESIGN
- ◎(株)ヘリオス ◎橋本啓輔 ◎小山 健 ◎林 正人 ◎桜井和美 ◎西照寺 ◎土倉若菜 ◎豆月
- ◎浅井 郁 ◎開発文七 ◎たなつや ◎棚田啓子 ◎室井幹子 ◎平野敏子 ◎三田恵理 ◎関 敦子
- ◎新垣るみ・リか ◎森坂八重子 ◎川本七穂子 ◎本多博行・恵子 ◎堀内正男・淳子 ◎HISOCA
- ◎蒲地絵美 ◎東出珈琲店 ◎かなざわ大友治療院 ◎チャペック ◎中村博信・信子 ◎北陸製菓(株)

こころ暖まるご寄付、ご協力 ほんとうにありがとうございました。



募金箱設置協力

- ◎(株)中田エンジン ◎村田屋旅館 ◎(株)澤本商事
- ◎十輝チャリティーコンサート出店の皆様
- ◎公益社団法人石川県馬事振興協会金沢馬術倶楽部



1年間の活動・準備のふりかえり

(2017.8.26 ~ 2018.8.9)

平成29年(2017年)

- 8月26日(土) 反省会と今後の活動打合せ 【5名参加】
 9月3日(日)~10月21日(日) 報告書編集会議(10回開催) 【2~6名参加】
 25日(月) 金沢科学技術専門学校 卒業研究課題にふくしまっ子を取上げ
 澤本悟博レクチャー
 10月14日(土)・15日(日) うけいれ全国交流会in山梨 岩井参加 全国24団体50名
 (報告書・DVD仕上がり)
 28日(土) 福島報告会
 29日(日) poco連人さん6名+参加親子9家族25名+スタッフ14名
 南会津シェアハウス『ぼかぼかハウス』
 11月4日(日) 金沢報告会
 うけいれ全国から3名+スタッフ20名
 14日(火) 報告書発送作業 澤本多、道花、八田、猪飼 澤本家
 28日(火) 金沢ライオンズクラブにて講演 岩井
 金沢ニューグランドホテル
 30日(木) 金沢市に対し助成金依頼 金沢市役所
 12月5日(火) 石川県に対し助成金依頼 石川県庁
 16日(土) クリスマスパーティー 【30名参加】
 21日(木) 金沢科学技術専門学校 卒業研究中間発表

平成30年(2018年)

- 2月3日(土)・4日(日) うけいれ全国協議会主催「保養のこれからを考える会」岩井参加
 福島県二本松市男女共生センター 武蔵ビジネスプラザ
 17日(土) 金沢科学技術専門学校 卒業研究発表 武蔵ビジネスプラザ
 ヤングリーダーミーティング・卒業おめでとう会 【18名参加】
 3月3日(土) こども被災者支援基金説明会&スタッフミーティング 【8名参加】
 11日(日) スタッフミーティング 【8名参加】
 25日(土) ヤングリーダー顔合わせ会 【26名参加】
 4月20日(金) 会計内部監査 【3名参加】
 22日(日) 第1回発展プロジェクト 野々市のつぼくん 【10名参加】
 26日(金) 会計監査 澤本家 【4名参加】
 5月2日(水)~5日(土) 3泊4日 ワンネススクール鳥越校舎
スタッフ合宿研修+親子保養
 講師 NPO法人シャローム災害支援センター 吉野裕之氏
 永井敏昌日赤救急法指導員
 (ヤング16名、大人12名、福島親子2家族7名) 【31名参加】
 18日(金) 第2回発展プロジェクト 野々市のつぼくん
 20日(日) 能登下見 【6名参加】
 26日(土) 第3回発展プロジェクト 澤本家 【10名参加】
 6月1日(金) 申込受付 募集チラシ発送、寄付依頼文発送 6月12日(土) 【5名参加】
 3日(日) 能登少年自然の家 事前打ち合わせ 【3名参加】
 8日(金) 第4回発展プロジェクト 澤本家 【8名参加】
 9日(土) 十輝+奥野勝利チャリティーライブ 【80名参加】 100枚チケット販売
 13日(水) スタッフミーティング
 25日(月) よしだ小児科クリニック吉田均先生に甲状腺検査のお願い 岩井
 7月1日(日) 街頭募金 香林坊大和前 【16名参加】
 ふくしまっ子フェイスブックにてカウントダウンスタート!
 21日(日) 安全管理講習会+スタッフ懇親会
 講師 押尾氏 金沢キコ山ふれあい研修センター 【30名参加】
 野外活動の安全管理 スタッフ参加日程確認 スケジュール確認
 28日(土) 猪苗代 ぼかぼかハウス
 29日(日) 参加者対象事前説明会 郡山市ニコニコ子ども館 【6家族20名参加】 【石川より7名参加】
 8月2日(木) キッチンスタッフ買い出し 【3名参加】
 3日(金) スタッフミーティング 部屋割り表・出入り表確認 【6名参加】

会計報告

【ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会】 自平成30年4月1日 至平成30年9月30日

収支決算報告書

(収入)		(単位:円)	
	金額	内	訳
参加者会費	420,000	15,000×26名(子ども)=390,000	
		7,500×4名(保護者4名)=30,000	
募 金	22,788	街頭募金	
協 賛 金	2,185,475	企業・団体 36件・個人様 96件(¥1,859,200)	
		募金箱協力6件(¥102,275)	
		チャリティーコンサート収入(石川常護寺)(¥224,000)	
雑 収 入	9	受取利子	
前 年 度 繰 越 金	4,334,929		
合 計	6,963,201		
(支出)		(単位:円)	
	金額	内	訳
人 件 費	25,000	看護師25,000円	
会 議 費	104,487	講師御礼、夏スタッフ慰労会8/16分(38名参加分)¥39,895	
備 品 費	52,770	ウォーターサーバー、照明器具、PCソフト保守等	
活 動 費	69,800	BBQ炭・活動材料費・生活用品費(洗剤・シャンプー)等	
施 設 借 り 上 げ 料	423,140	能都町(能登少年自然の家) 金沢市ふれあいの里研修センター GW研修(ワンネススクール)	
バ ス 委 託 料	925,800	郡山~石川県能登少年自然の家 石川県能登少年自然の家~金沢市ふれあいの里研修センター 金沢市ふれあいの里研修センター~郡山	
食 料 費	335,029	GW合宿研修自炊食材費 71,036円 能登自炊食材・飲料費 258,993円	
旅 費 ・ 交 通 費	160,271	5月GWスタッフ研修会旅費補助分 福島ほよん説明会・事前説明会 高速料・ガソリン料	
通 信 費	26,973	チラシ郵送費・申込書等郵送費	
広 告 宣 伝 費	265,880	デザイン費(チャリティーコンサート・募集チラシ作成費等)65,880 報告書作成費200,000円(予定計上)昨年度600部18万実績より	
印 刷 消 耗 品 費	33,360	コピー代、消耗品費	
保 険 料	53,278	参加者 国内旅行傷害保険 スタッフボランティア保険	
雑 費	4,720	振込手数料	
今 年 度 繰 越 金	4,482,693		
合 計	6,963,201		



ご支援 お願いします。

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会では
保養事業が長期に渡る継続事業であることから、
随時活動資金のご寄附をお願いしております。
みなさま方のあたたかいご理解ご支援を
心よりお願い申し上げます。

■ゆうちょ銀行よりお振込いただく場合

振込口座 ゆうちょ銀行

【記号】13100

【番号】2147251

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
(フクシマッコチャレンジスクールジッコウイインカイ)

■他金融機関よりお振込いただく場合

振込口座 ゆうちょ銀行

【支店名】318 (サンイチハチとお書き下さい)

普通貯金 【口座番号】0214725

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
(フクシマッコチャレンジスクールジッコウイインカイ)

本事業に対するご質問お問い合わせは「ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会事務局」あて
(株)澤本商事内 担当者 澤本多日子 E-mail: kokaseki@spacelan.ne.jp まで

編 集 後 記

ふくしまっ子チャレンジサマースクールは今年で7回目の開催となりました。全国的に異常な猛暑が続いた夏でしたが、危惧されていた熱中症や大きなケガ・事故が子ども達に起こることなく6泊7日を過ごすことができました。

東日本大震災原発事故から7年が経った現在、福島県の現状をテレビやラジオに取り上げられることが年々少なくなっていると感じます。しかしながら、保護者の方々から日々の生活への不安が消えたという声をお聞きしたことは一度もありません。キャンプ中には、福島を取り巻く環境や、子ども達への想いを一言一言、言葉につかえ、涙ぐみながらお話ししてくださいませ。メディアを通してでなく、実際に生の声を聞き交流することで、未だ心に強い不安を抱え続けているという事をダイレクトに感じます。

私自身、正直まだまだわからないことだらけなのが事実です。どの情報を信じ、どう捉え、それを踏まえて出来ることは何かを考えることは自分の大きな課題だと感じています。

こうした想いを抱えた方が多くいる中で、全国の保養団体は、資金面やスタッフの確保などの問題から年々縮小しているのが現状です。この活動を長く継続をしていくためには、現状維持ではなく、さらに発展していかなければならないのでは?という課題が浮かび、スタッフ内で何度も話し合いました。

例年よりも少ないスタッフや資金の事についてみんなで対策を考え、積極的にSNSを利用したり、ご寄付して下さった方一人一人に理由を聞き、今後支援の呼びかけ等をどう進めていけばいいのかを明確にしました。解決策を行動に移していく中で、改めてこの活動の意義を考え直す機会にもなり、結果、キャンプが始まるまでには不安や戸惑いの気持ちはなくなっていました。今年は、活動を企画・運営していく中で生じる問題や課題について、一層向き合った年だったと感じます。

今年も多くの皆様からご支援・ご協力をいただき、子ども達の笑顔を見ることができました。この報告書を通して、子ども達のたくさんの笑顔、保護者の方々の想い、今もなお続く福島の現状を見て感じ、考えるきっかけとなれば幸いです。

このふくしまっ子チャレンジスクールを必要だと感じ、行動して下さった皆様のあたたかな想いに深く感謝申し上げます。来年もお会いできることを楽しみにしています。

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会 ヤングリーダー 細川 詩萌里
(しっぽ)